

## ガバナー月信 5月号

Rotary  
第2750地区奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

## Governor's message

国際ロータリー第2750地区 2021-22年度ガバナー

三浦 眞一

青少年への奉仕は世界を  
前進させる原動力2021-22 Governor,  
Rotary International  
District 2750

Shinichi Miura



新緑が目まぶしい季節になりました。本年度も残り2か月となり、多くのクラブが周年記念式典を迎えられたことは大変うれしく、心よりお祝い申し上げます。

国内の地区大会もコロナ禍の影響を受け、この時期に集中しており、私もできる限り出席させていただきたく、全国を飛び回っております。当地区の地区大会も2月開催から5月12～13日に変更いたしました。会員の皆様には、ぜひ賜りますようお願い申し上げます。

5月は「青少年奉仕月間」です。ロータリーの青少年奉仕活動は、一世紀を超える長きにわたり、多くのロータリアンが大変な情熱を持って継続してまいりました。この間、多くのプログラムが実施され、世界に例を見ない「青少年奉仕団体」として認められてまいりました。日本国内におきましては、米山梅吉翁の情熱あふれる支援の心が米山記念奨学会を生み、多くの外国人留学生がその恩恵にあずかってまいりました。また、1960年代にはインターアクトクラブやローターアクトクラブが誕生し、その後RYLA（青少年指導者養成プログラム）も採用され、今日に至っています。本年は青少年交換学生も、4名の受け入れと同数の派遣を実施できるようになりました。このことは未来への明るい希望の光がもたることになります。青少年交換委員会の皆様のご努力に、心から御礼申し上げます。

ロータリーの活動は、貧困に苦しみ、水や食べ物を必要としている人々や病気に苦しむ人々への支援の手を差し伸べるとともに、将来の世界を担う青少年への育成プログラムを並行する形で実施しており、現在から未来への道標になるようつながりをつくる役割を果たしています。これは我々ロータリアンが世界から与えられた大きな使命であると考えています。皆様とともにこの使命を果たしてまいりたいと思います。

今、世界は新型コロナウイルスという新たな人類の敵と闘っている最中ですが、街を破壊し人と人が殺し合うという新たな脅威が出現してしまいました。ロシアによるウクライナ侵攻であります。多くの国民が虐殺され、400万人以上の人々が避難民として国を離れなければならない、隣国やヨーロッパの各国へ移住しています。日本へも少ないですが避難されて来ています。21世紀になっても人間はまだ愚かな紛争を繰り返すのでしょうか。このような事態は一日も早く終結させ、街と国の復興を通じて、未来ある青少年の育成につなげていかなければなりません。近隣諸国の多くのロータリアンが救援活動を続けておりますが、それには多くの資金が必要です。また復興にも多くの資金が必要です。ロータリアンの皆様の温かいご寄付をお願いいたします。世界中の青少年のために、今こそ共に立ち上がりましょう。

## 青少年奉仕月間

ロータリーにおける青少年のための活動は、1920年5月、ニューヨーク・ロータリークラブが地元団体と協力して行ったBoys' Weekとして始まりました。1920年、数年前に結成された活動委員会とともにBoys' Workプログラムが始まりました。1934年にはが青少年週間（Youth Week）となり、1936年には「Boys and Girls' Week」（少年・少女週間）へと変わっていきました。

後に、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年交換といった青少年や若者のためのプログラムが創設されました。2010年、新世代奉仕（現、青少年奉仕）がロータリーの第5奉仕部門となり、指導力育成活動、地元や海外での奉仕プロジェクト、交換プログラムといった活動を通じて若い人々に素晴らしい経験の機会を提供しています。

## 青少年奉仕委員会の活動報告

青少年奉仕委員会 委員長 武藤 英正（東京世田谷南ロータリークラブ）

2021-22年度の青少年奉仕委員会に属する5つの委員会の活動をご報告申し上げます。今期も新型コロナウイルスの蔓延により、大幅に活動が制限された年でありました。青少年交換委員会は、例年8名派遣候補生を選出しています。委員会内でも十分ご検討いただき、海外からの交換学生の対応も考え、今期は4名に減数させていただきました。インターアクト委員会は、コロナ禍の中で無事にインターアクトクラブ10校の参加で、インターアクト年次大会を東京高校で開催することができました。インターンシップ委員会も蔓延防止措置の影響を受け、毎年実績のある都立高校の学生をロータリアン関連の企業に受入れて、望ましい職業観、勤労観を身につけさせる事業を行うことが出来ませんでした。代わりにロータリアン自身が高校に出向き、教室で講義を行い有意義なものとなりました。ローターアクト委員会は、Zoomなどのソフトをうまく使い分けながら、ハイブリッドで活発な活動を行いました。事業も血液が不足しているという情報から赤十字社に協力し献血活動を行いました。また次期よりRIの方針でローターアクトがロータリーと共に肩を並べて活動することが決まり、青少年奉仕委員会から外れることが決まっています。ロータリーと共に「ポリオ撲滅キャンペーン」にも参加協力し、存

在感を広めています。最後になりましたが、RYLA委員会は、青少年指導者育成プログラムを行い、リーダーシップスキルとロータリーや奉仕について学ぶことを目的にしていますが、その性質上リアルで2泊3日の研修を行う必要があり、感染予防の観点から全てのプログラムを中止しました。

青少年奉仕事業は、ロータリーのプログラムの中でも健全な青少年の育成に必要な不可欠のものであります。新型コロナウイルス蔓延の中でも、各委員長を中心に出来るだけの事業はしっかり行っていただき成果も出すことができました。



## 地区大会のご案内

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度 国際ロータリー第2750地区

# 地区大会

【会場】 グランドプリンスホテル新橋 国際館パミール

2022年  
5/12 各種委員会  
RI会長代理歓迎晩餐会  
16:30-20:00

5/13 クラブ会長・幹事会  
本会議  
懇親会  
10:30-19:20

三浦 真一

奉仕の心でつながろう地域と世界と

2021-22年度も新型コロナウイルスのまん延防止策等により、会員の皆様とリアルで共有しやすくなる機会が減少しました。地区大会の開催も延期を余儀なくされ、皆様は多大なご迷惑をおかけしたと存じます。2年ぶりのリアル開催へ向けのご準備は十分進めたい。近々ロータリーにも赤十字社も協力し、皆様へお礼の手紙を合わせ、共に盛り合えることを目指しての開催になりますので、多くの会員のご参加をお待ち申し上げます。

記念講演  
武藤 英正  
東京世田谷南ロータリークラブ  
会長

特別講演  
ピノ 金井 研二  
東京世田谷南ロータリークラブ  
副会長

Rotary 第2750地区  
ホストクラブ 三浦 真一  
東京八王子西ロータリークラブ

Rotary District 2750 2021-22 DISTRICT CONFERENCE

### 地区大会プログラム

2022年 5月12日(木)

16:30 各種委員会  
17:30 RI会長代理歓迎晩餐会

2022年 5月13日(金)

10:30 クラブ会長・幹事会  
13:00 本会議 (閉会式)

14:20 記念講演  
15:40 記念公演  
16:30 各種委員会  
17:40 表彰  
18:10 閉会式  
18:30 懇親会

地区大会会場  
グランドプリンスホテル新橋 国際館パミール  
〒105-8562 東京都港区新橋 9-1-1  
TEL: 03-3462-1111 FAX: 03-3468-1234

2021-22年度地区大会実行委員会 委員長 三浦 真一(東京八王子西RC)  
〒182-0021 東京都八王子市南大塚 2-3-3 dc2750.2021.2022@gmail.com

地区大会に関する最新の状況につきましては、

2021-22年度地区大会実行委員会  
東京八王子西RC  
地区大会実務事務局 鈴木  
dc2750.2021.2022@gmail.com

までお問合せください。



## 第9回「奉仕のつどい」開催報告

奉仕のつどい実行委員会 委員長 大日方 真 (東京サンライズ汐留ロータリークラブ)

2022年3月23日に第9回「奉仕のつどい」を開催しました。東京都港区の赤坂区民センターで開催する予定で準備してきましたが、コロナ禍の勢いが衰えなかったため、第2750地区ガバナー事務所に変更して無観客で行いました。当日は、地区委員会とロータリークラブの関係者が集まって、午後1時半から開始しました。冒頭に三浦眞一ガバナーが新型コロナウイルスの波が繰り返し襲うなかで「奉仕のつどい」を開催できたことに対して、関係者の労をねぎらい感謝の言葉を述べられました。続いて第1部、第2部に分けて発表を行いました。第1部は地区委員会からの報告で、職業奉仕委員会、国際奉仕委員会、青少年奉仕委員会と東京オリンピック・パラリンピックを支援した2020支援委員会、未来を担う若者たちを支援するロータリーファミリー支援委員会からの発表がありました。第2部は地区内クラブの活動報告で、10クラブから活動報告がありました。発表された報告のテーマは次の通りです。

チャリティーキッズフェスタ報告、ミャンマー少数民族の八角栽培支援、木を植えてつながる支援活動、障がい者アート展、コロナ禍での奉仕活動、東京町田ロータリークラブ60年奉仕の歴史、地元地域の子供や家庭へ

の共助活動、グアム大学友情の奨学金、多摩川クリーン作戦、マレーシアでのフードバンク事業。

ユニークな報告がいくつかありました。国際奉仕委員会の報告は中央大学ローターアクトクラブが行ったタイ西部のサンクラブリー小学校への支援で、この活動で中央大学ローターアクトクラブの会員数が70名に増えました。チャリティーキッズフェスタは東京都心の3クラブ、東京サンライズ汐留、東京グローバル、東京田園調布緑が合同で行った活動です。地元の子供や家庭への共助の活動は東京八王子南ロータリークラブ会員の神山治之さんがクラブを超えて行っている活動で、特定非営利活動法人フードバンクTAMAを立ち上げて、協賛企業や団体の支援を受け活動を続けています。友情の奨学金はクラブ間で支援活動をバトンタッチして活動を続けています。今年度は東京六本木ロータリーが東京三鷹ロータリーからバトンを受け、次年度は東京西ロータリーにバトンが渡ります。

この「奉仕のつどい」の記録は「奉仕のつどい」記録集として出版され、あわせてDVDにまとめて地区内の全クラブに提供することになっています。

当日の様様につきましては、  
地区HPの地区インフォメーションの中の、  
**「奉仕のつどい」無観客発表会開催 2022年4月1日**  
で見ることができます。

(2022年4月25日現在)





## 地区の星を探して

## ロータリアン達の絆で台湾より日本へ医療用マスクの贈呈

奉仕プログラム委員会 委員長 西澤 民夫 (東京赤坂ロータリークラブ)

2021年12月に、国際ロータリー第3522地区（台湾・台北）のロータリアン達は、日本からの貴重なワクチン420万回分の贈呈に感謝するため、17万枚の医療用マスクを、第2750地区を經由し、公益社団法人東京都医師会（尾崎治夫会長）に贈呈いたしました。尾崎会長からはオミクロンが蔓延する直前で非常にタイムリーだと大変感謝されました。詳しくは以下の通りです。

今回のマスク贈呈活動は、R I 第3522地区 李慕雄ガバナー、林華明パストガバナー、台北草山ロータリークラブ 陳思明元会長の旗振りによるものでしたが、これは2021年9月に日本から無償提供された新型コロナウイルスワクチンの返礼として、行われたものです。

台湾のロータリアン達の募金による約7万米ドルを原資に、医療グレードの「Dellcom」DPPE-95（欧州ルール認定 FFP2認証）マスクを10万枚に加え、DMFM-01（US FDA ASTM F2100 Test認証）マスクを7万枚購入して日本へ送られました。マスクを入れた各々の紙箱の両側に「謝謝日本、日本ありがとう。台湾ロータリアン達からの感謝」との文言のテープが貼ってありました。

コロナ禍で台湾のロータリアン達は出国出来ないこと

から、日本での贈呈活動は、R I 第2750地区（日本、東京）三浦眞一ガバナー、水野功パストガバナー、東京赤坂ロータリークラブ河邊幸夫会長をはじめとした日本のロータリアン達が担当し、台湾のロータリアン達に代わり公益社団法人 東京都医師会へ贈ることができました。

マスク贈呈式には台湾のロータリークラブの名誉会員でもある駐日代表 謝長廷氏も参加される予定でしたが、公務で台湾に帰国されたため、蔡明耀（サイメイヨウ）副代表及び傅國華（フーコーハ）一等書記官が出席されました。

今回マスク贈呈活動は日台のロータリアン達の固い絆の下で実現されたもので、日台国民の相互扶助と共済の精神の賜物と言えるでしょう。

なお、一部のマスクは、日台の姉妹クラブを通じて、東京近郊の神奈川県／埼玉県／千葉県などの医療機関にも贈呈されました。

台湾、輸入業者及び他地区の姉妹クラブ等との連絡事務は当・地区奉仕プログラム委員会が担当させていただきましたが、オミクロンが蔓延する前の令和3年12月23日に無事、贈呈式を執り行うことができ、ホッといたしました。



# 国際ロータリー第2750地区会員数報告 - 3月分 -

District 2750 Membership Report March 2022

クラブ名	例会	会員数			クラブ名	例会	会員数			クラブ名	例会	会員数				
		21年7月1日	22年3月末	増減			21年7月1日	22年3月末	増減			21年7月1日	22年3月末	増減		
<b>千代田グループ</b>				<b>山の手西グループ</b>				<b>多摩東グループ</b>								
東京南	4	189	185	-4	東京城西	3	57	56	-1	東京小金井	3	38	39	1		
東京芝	2	58	60	2	東京西南	4	40	39	-1	東京国分寺	0	37	36	-1		
東京新橋	3	53	52	-1	東京原宿	2	14	16	2	東京三鷹	2	39	40	1		
東京赤坂	4	46	52	6	東京杉並	4	38	38	0	東京昭島	0	51	51	0		
東京みなと	3	32	33	1	東京神宮	3	24	23	-1	東京国立	3	42	40	-2		
東京麻布	4	13	15	2	東京恵比寿	4	108	110	2	東京立川こぶし	0	86	83	-3		
東京グローバル	3	19	21	2	東京広尾	3	26	28	2	東京井の頭	1	23	26	3		
東京サンライズ汐留	3	16	17	1	東京渋谷	3	35	35	0	東京昭島中央	0	48	48	0		
<b>銀座・日本橋グループ</b>				<b>山の手東グループ</b>				<b>多摩西グループ</b>								
東京銀座	4	185	181	-4	東京世田谷	4	41	41	0	東京府中	1	51	52	1		
東京日本橋	3	194	196	2	東京目黒	4	33	32	-1	東京調布	3	60	62	2		
東京築地	3	70	70	0	東京成城	2	15	15	0	東京多摩	1	17	14	-3		
東京日本橋東	3	42	42	0	東京世田谷南	3	87	89	2	東京稲城	1	26	26	0		
東京中央	5	194	198	4	東京城南	0	15	25	10	東京武蔵府中	1	39	36	-3		
東京日本橋西	4	44	43	-1	東京山の手	4	70	74	4	東京たまがわ	3	17	14	-3		
東京銀座新	3	76	77	1	東京成城新	4	30	30	0	東京多摩グリーン	0	26	26	0		
東京シティ日本橋	3	31	31	0	東京青山	3	16	14	-2	東京調布むらさき	3	64	65	1		
東京中央新	3	56	58	2	東京自由が丘	5	14	15	1	東京iシティ	1	18	19	1		
東京あけぼの	3	19	20	1	東京米山友愛	4	37	38	1	<b>パシフィック・ペイスグループ</b>						
東京山王	4	37	36	-1	東京米山ロータリーEクラブ2750	2	35	37	2	Guam		51	53	2		
東京パリアフリーマインド	2		19	19	東京代官山	2	26	28	2	Saipan		44	50	6		
<b>京浜グループ</b>				<b>多摩南グループ</b>				<b>国内88クラブ計</b>								
東京羽田	2	51	51	0	東京八王子	4	59	61	2	地区97クラブ計		4,491	4,563	72		
東京品川	1	41	37	-4	東京町田	4	57	68	11							
東京大森	1	31	33	2	東京日野	3	31	32	1							
東京品川中央	4	28	26	-2	東京八王子西	4	107	106	-1							
東京田園調布	3	44	42	-2	東京町田・中	4	23	24	1							
東京港南マリン	4	17	16	-1	東京八王子東	4	34	34	0							
東京大崎	3	24	25	1	東京八王子南	5	76	79	3							
東京蒲田	3	66	65	-1	東京町田サルビア	2	35	35	0							
東京京浜	2	24	24	0	東京飛火野	5	21	22	1							
東京田園調布緑	0	18	18	0	東京町田東	1	29	25	-4							
東京白金	3	27	29	2	東京八王子北	3	42	42	0							
東京高輪	1	20	21	1	<b>多摩中グループ</b>											
<b>山の手東グループ</b>				東京立川				1	118	121	3					
東京西	4	196	188	-8												

この記事は、各クラブへの  
「ガバナー月信 配信版」で  
ご参照ください。

## 編集後記

二神 典子 (東京築地RC)

今年度も残すところあと2か月。既に新年度に向けての活動が本格的になり、今年度はもう終わったと思っている方もいらっしゃるのでは?! いえいえ、会長はじめ今年度担当者の皆さまは残りの2か月間、目達成に向けて全力投球されることでしょう。「終わり良ければすべて良し」です。会長エレクトはじめ新年度担当の皆さまはより充実した年度にするために準備に余念がないことでしょう。

皆さまがいずれの立場でも、一度今年度を振り返って成功したことや課題を確認することは大切なことです。7月からの『ガバナー月信』を再読してみてください。今年度の仕上げのため、新年度の準備のため、新しい発見があることと思います。

国際ロータリー第2750地区 2021-22年度 ガバナー 三浦 眞一  
Rotary International District 2750 2021-22 Governor Shinichi Miura

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750  
KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行 ガバナー 三浦 眞一 (2021-22) Shinichi Miura 2022

編集・制作 ガバナー月信・年次報告委員会

委員長 諸星 宗幸 (東京八王子西) 委員 石川 和子 (東京中央新) 竹平 時彦 (東京大森)  
副委員長 二神 典子 (東京築地) 渡辺 和彦 (東京銀座) 荒木 賢一 (東京南)  
浅川 立憲 (東京八王子西) 太田 智 (東京中央) 須賀川 誠 (東京銀座)

第2750地区ホームページ

<https://www.rid2750.org>

